

土木部関係(道路、踏み切り、河川、下水道)について

庄司 勝義



質問 「津山南(空港)道路」、「空港津山道路」、「県道(四四九)種町内会」、「国道(一八一)院庄、中須賀」、「錦織(一八一)国道接続道路」、「国道(五三)中央病院間の道路」、「幻の県道、

(久米、余野上、桑上、小山)通学道路の舗装」、「踏み切り道路拡幅」について。

答弁 津山南道路は用地買収に難航している箇所もあるが、先行しているところについては約七割の契約率であり、国で判断する。美咲町以南の事業については五月、七月、十一月に国会議員に要望活動する。県道(四四九)は種地区三百メートル、荒神山百メートル今年度完成予定。国道一八一院庄交差点から久米に向けての延長三百メートルは設計協議が終了し、今後は用地交渉に着手する予定。中央病院(五三国道)は数名の同意が困難で県と連携して努力する。踏み切り拡幅は久米二、津山二箇所ある。

「食の自給率向上」と「市営施設の分煙」について

みどりの会 佐々木裕子



質問 津山市食育推進計画を策定し二年が過ぎた。食について行政の最重要課題は自給率を高めしていくことと考えている。自給率を高めるためには、目標

を定めて具体的に動くことが必要だが、アクションプランの策定を市長はどう考えているか。

答弁 食育推進計画では全庁体制で総合的・計画的に推進することとしているが、必要ならば食と農に特化した推進体制を組むなど実効をあげたい。

質問 健康増進法で定められている「公共施設の受動喫煙防止」の取り組みはどうなっているか。

答弁 公共施設の一割程度が禁煙・分煙対策が未実施で、その中には不特定多数の方が利用する施設も含まれている。今年九月までに施設ごとに禁煙・分煙化の方針を決定していく。

津山市の覚悟と決断

津山新星会議 吉田 耕造



質問 平成二十二年四月以降のグラスハウス維持管理費の負担額がもつたいなのか。三十二億円かけて建設したグラスハウスを十年で取り壊すのはもつ

たいなくはないのか。また、解体費はどちらが負担するのか。

市長 十年余りで取り壊すことは、市民・県民の理解を得ることは難しいと考えている。存続のため検討し万策尽きて取り壊しになる場合は、止むを得ない市単独で存続した場合、向こう十年で二十二億円の市税の投入になる。市単独で存続させた場合と、取り壊しを選択した場合、どちらが市民にとって「もつたいたいのか」おのずと結論が出てくるものと考えている。解体費は県施設のままなら県が負担し、譲渡を受ければ市の負担となる。

不妊治療支援で助成に上乗せを

みどりの会 木下健二



質問 特定不妊治療支援事業で、県下には県の助成制度に上乗せする等している自治体があるが市の取り組みは。小・中学校の耐震化事業で、東小のスケ

ジュールは。北小は緊急経済対策の一環として早まらないのか。

答弁 笠岡、井原市では一回あたり上限額二十万円、真庭、美作、高梁市では十万円、新見市では十五万円という状況。経済的な負担軽減の意義は十分認識しており、他市を参考に検討する。

東小は基本設計に着手。今後、レイアウトなど学校や関係者の意見を聞き詳細な設計につなげる。今年度末に実施設計が完了予定で、工事に向け、事務を進める。文科省も耐震化事業の早期完了の施策に乗り出している。市の耐震化事業でもこの経済対策を活用し、北小も前倒しで取り組んでいく。